

2025 年度休眠預金等活用事業（緊急枠）
～令和 7 年 8 月豪雨 在宅被災者アウトリーチ連携事業～

申請団体の情報および選定プロセス

1. 公募概要

本事業では、令和 7 年 8 月大雨により被災した在宅被災者への支援体制を強化するため、福岡県・熊本県を対象として実行団体を公募しました。

対象地域	福岡県・熊本県（災害救助法適用市町を主対象とし、必要に応じて適用外市町も含む）
説明会	4 回開催（現地・オンライン併用）、参加団体 26 団体
募集期間	62 日間
申請件数	5 団体
採択予定件数	5 団体

2. 申請団体一覧

団体名	所在地	申請事業名	事業概要
一般社団法人 螢火	福岡県うきは市	令和 7 年 8 月大雨被災世帯の福祉・住まい連携支援事業	被災世帯へのアウトリーチにより生活・住まいの課題を把握し必要な支援へつなぐ。
NPO 法人ハッピーライド	福岡県中間市	中間市浸水リスク地域へのアウトリーチ事業	浸水リスク地域における要配慮者支援と地域の避難支援体制づくりを行う。
一般社団法人 Camp	福岡県朝倉市	被災者支援体制の強化事業	アウトリーチ・相談支援・多機関連携による被災者支援体制を強化する。
一般社団法人九州防災パートナーズ	福岡県北九州市	被災地の課題把握及び避難支援体制強化事業	車中泊避難等を含めた避難支援体制の強化を図る。
特定非営利活動法人バルビー	熊本県熊本市	令和 7 年 8 月豪雨被災者支援事業	行政・社協等と連携し、被災者へのアウトリーチと伴走型支援を実施する。

3. 選定プロセス

公募にあたっては、福岡県・熊本県での現地説明会及びオンライン説明会を開催するとともに、申請書作成書き方勉強会や個別相談を実施し、説明会動画も公開しました。また、行政・社会福祉協議会・関係団体とのネットワークを活用して広く公募情報を周知しました。

応募団体から提出された事業計画書及び資金計画書等について書類確認を行い、必要に応じて個別ヒアリング及び現地確認を実施しました。その後、外部有識者3名による審査委員会において、公募要領に定める審査基準に基づき公平・公正な審査を実施し、その結果を踏まえて理事会において採択団体を決定しました。審査にあたっては、利益相反の確認及びガバナンス・コンプライアンス体制の確認も実施しました。

4. 選定の流れ

- (1) 公募開始
- (2) 公募説明会（現地・オンライン）
- (3) 申請受付
- (4) 書類確認
- (5) 個別ヒアリング・現地確認（必要に応じて）
- (6) 外部審査委員会
- (7) 採択決定